

7 大乘仏教とは何か —その成立と展開—

【全4回】／開催方法：



わたなべしょうご
渡辺章悟

東洋大学教授
博士（文学）



受講料 会員料金：¥9,000 早割価格：¥8,000(納入期限：5月26日)

【日程・時間】【全4回】 6月2日(金) 13:20~14:50・15:00~16:30
6月3日(土) 10:30~12:00・13:20~14:50

■受講に必要なもの
[テキスト] レジュメ配布

大乘仏教はなぜ、またどのように成立したのか、これらの問いは現在でも、ホットな議論的であり、その議論自体が大乘仏教の一つの展開でもあります。

本講義では、大乘仏教の起源と成立の問題を、これまでの定説や近年の新説にいたるまでを紹介し、ついで、実際に大乘仏教の代表的経典である、般若経や法華経、阿弥陀経などの重要な章句を実際に読みながら、①経典の成立、②大乘の特徴とその思想、③法滅と授記、④悟りの智慧の展開、⑤第二の転法輪、⑥三乗思想、⑦菩薩思想、⑧仏身論などを検証してゆきます。今回は特に①から④までが中心となります。これらのテーマを分析しながら、大乘仏教の概要と その思想の全体像を理解するように努める予定です。

第一回 大乘仏教のスケッチ

大乘仏教はインド仏教全体では中期に位置しますが、それ自体では初期・中期・後期に分けられます。その分類の考え方、そしてそれぞれどのような経典があり、その特徴はどのようなものなのかを概略します。

第二回 大乘仏教の起源と発展

大乘仏教の成立についてのこれまでの学説と最近の研究状況を解説します。また、大乘という呼称とその主張がどのように変遷してきたのかを説明いたします。

第三回 大乘仏教思想の骨格(1)

法滅思想を中心に、初期仏教の思想を大乘がどのように取り入れて形成されていったのかを説明します。

第四回 大乘仏教思想の骨格(2)

ブッダのさとりはサールナートでの初転法輪によって開始されますが、その説法モデルをもとにして大乘仏教は第二・第三の転法輪を述べます。その説示の方法と意義を解説します。

【参考書】

テキストはレジュメを配布するが、さらに深く学びたい方は以下の参考書を読んでください。

- ① グレゴリー・ショーペン著・渡辺章悟監訳『インド大乘仏教の虚像と断片』国書刊行会、2022年12月
- ② 渡辺章悟『般若経の思想』春秋社、2019年12月
- ③ 渡辺章悟「大乘教団のなぞ」『仏教の形成と展開』（新アジア仏教史02インド）佼成出版社、2010年
- ④ 勝崎・小峰・下田・渡辺共著『大乘経典解説事典』北辰堂、1997年